

小鹿野 坂本ボルダー

2017.12.1 retK

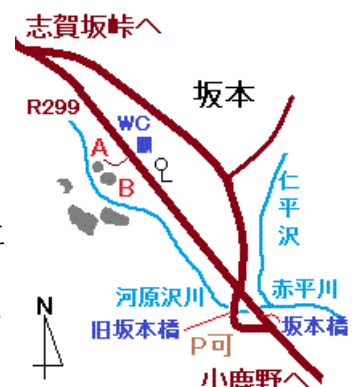
今から15年以上前になるが、二子でのクライミングの帰りに、特に理由もなく二子山の登山口である坂本のバス停辺りに車を止め、何気に沢を覗き込むと、少し大きめのボルダーらしきものが見えた。もしかすると思っただけで沢筋までちょっと降りてみると、苔だらけではあるが、大小2つの遊べそうなボルダーが川縁に転がっていた。

その後、横の国道299は何度も通っているにもかかわらず、全く気にもせずにはいたが、夏に久しぶりに覗いてみたところ、下地は一部あまり良好とはいえないものの、何本か面白い課題ができそうだったので、今回帰省のついでに再び訪れてみた。

岩質は礫岩だが水流にもまれてきたためか、意外としっかりしている。

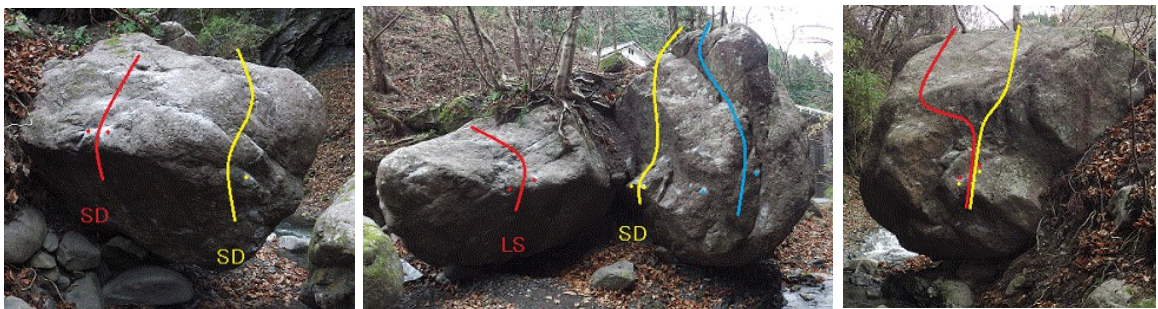
この周辺は緩やかな滑滝になっており、対岸は岸壁が迫りゴルジュ状となっている。冬場は明るく趣が異なるが、夏場にここだけを切り取るなら、静かで美しく、深山幽谷の様相を呈しており、ある意味、こんな場所にこんなところかと思う程不思議な場所である。

アクセス及びアプローチは、二子に行くクライマーなら誰でも知っていると思うが、国道299号の志賀坂峠に登る直前に坂本という集落があり、バスの終点となっている。車はその集落に入る直前の旧道の旧坂本橋近辺に駐車できる。アプローチは国道をバス停近くまで行くと左に河原沢川に降りる踏み跡があり、下れば横にボルダーが転がっている。



《課題紹介》

左:A岩上流側 中央:A岩川側&B岩上流側 右:B岩下流側



●A: 上流側の岩

上下流併せて3本の課題がある。上流側の赤ラインのスタートはリップ直ぐ上のホールド。黄色ラインのスタートは、顕著な斜めのスローパーホールドで、カウンターバランスでリップ上のホールドを左で取る。下流側の赤ラインのスタートは、左手が礫の詰まった穴ホールド、右手はリップ上の甘いホールドで引き上げるが、フットホールドが悪いのできつい。

●B: 下流側のハイボール

上下流併せて4本の課題がある。易しいが高さがあるので、慎重に登りたい。特に下流面の左ラインは、不意落ちすると水の中なので注意したい。